

会報

国鉄闘争全国運動

国鉄分割・民営化反対！ 1047名解雇撤回！

131号
2021年4月17日

国鉄分割・民営化に反対し 1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動事務局
千葉市中央区要町2-8 DCC会館内
TEL 043-222-7207
nationwidemovement@yahoo.co.jp

労働運動の再生へ7・3-4集会

東京地裁を包囲する署名運動を

中労委は「JRの番犬」やめろ 東京地裁は徹底した審理を行え



4月16日、国鉄1047名解雇撤回に向けた行政訴訟の第3回裁判が東京地裁で行われた。この裁判の一つの焦点は、JRを当事者として裁判の場に引きずり出すことだ。

JRを訴訟参加させよ

この間の闘いが暴き出してきた国鉄改革の真実は、1047名解雇が国家的な不当労働行為であり、その責任がJRにあることを明らかにした。その真実をもって労働総連合は新たな労働委員会闘争を開始した。

しかし、千葉県労委、中労委は一切の審理を拒否し、真実を闇に葬って政府とJRを擁護する不当命令を出した。今回の行政訴訟は中労委命令をめぐって

争われ、直接の裁判の相手は国中労委だ。

こうした場合、通常は中労委がJRに訴訟を告知して参加の機会を与える。そうしなければ裁判で組合が勝利した場合、JRは「そんな裁判は知らなかった」と再度裁判を行うことがで

きるからだ。ところが中労委はこの告知をまったく行おうとしない。そのため組合側から「訴訟参加申し立て」の手続きを行ってJRを裁判に参加させるよう訴えていた。

JRの訴訟参加について、中労委は「反対」の意見書を4月9日付で裁判所だけに提出し、組合側には伝えもしなかった。これだけでも信じがたいが、弁

国鉄闘争全国運動
呼びかけ人会議

「闘いの教訓 普遍化を」

7月4日に全国集会、前日に討論集会を開催

国鉄闘争全国運動は4月中旬、呼びかけ人会議を行いました。「労働運動の変革と再生」をテーマに開催した2・14国鉄集会、1047名解雇をめぐる東京地裁闘争、動労千葉の3月春闘などを受けて、今後の運動の方向を議論。7月4日に千葉市民会館大ホールで全国集会を開催すること、あわせて3日に討論集会を行うことを確認しました。

動労千葉の関委員長が今春闘を報告し、続いて葉山岳夫弁護士が4月16日の裁判について報告。JR東日本の不当労働行為

護団は中労委に直接連絡を取って送付するよう求めたところ、中労委側はなんとこれを拒否したのだ。

裁判での主張の書面を相手方には渡さないことは前代未聞の衝撃的な事態だ。弁護団は裁判所に連絡を取り、裁判所が「組合側にも送るべきだ」と伝えたことで、裁判前日によく中労委の意見書が組合側にも伝えられることになった。

JRを当事者にしないために書面の内容さえ明らかにしない中労委のこの態度！ これでは「労働者の団結権を擁護する」どころかJR・政府を守るための「番犬」ではないか。弁護団は中労委の不誠実極まる対応を法廷で弾劾した。

このことはJRを裁判に引きずり出すことがいかに大きな意義を持っているかを物語る。真実に触れれば国家的な不当労働行

東京地裁宛て 行政訴訟署名

4120筆

(21年4月17日)

為の責任がJRにあることを認めざるを得ない。だから、JRを「当事者」にしないことに政府も中労委も必死なのだ。

裁判所はJRを当事者にするについて「検討する」と判断を保留した。裁判所を徹底追及し、JRを当事者として引きずり出す闘いを展開しよう。

結論は一つしかない

中労委は、自らが出す救済命令について「広い裁量」が認められていることを口実に裁判所が解雇撤回・JR復帰について

ての判断から逃げようとしている。今回の裁判で組合側から提出した準備書面は、これを許さない主張が展開された。

確かに労働委員会には救済命令の出し方について広い裁量が認められている。だが、それはあくまで労働者の団結権を保護するためのものだ。会社側から不当労働行為には様々な形がある。不当労働行為からの救済には、個人の問題だけでなく、労働組合の活動への侵害に対する救済も含まれている。だから、救済命令も様々な形にならざる

●解雇撤回・団交開催行政訴訟

7月2日(金) 11時 東京地裁527法廷

生コン支部の運動も産業構造の矛盾や特質をどうする積極的な運動として合同労組などで教訓化できるはずと訴えました。

『関西生コン労働組合の弾圧を許さない東京の会』共同代表の木下武男さんが新たに国鉄闘争全国運動の呼びかけ人に加わり、日本労働運動の再生に向けて、関西生コン支部のような業種別・職種別労働組合の建設を訴え、新自由主義による産業の破壊に対して、関生支部のよう

に生産の質や量をコントロールすること、再公有化などの展望を語りました。

動労千葉の中村仁書記次長が、安全問題を切り口に展開してきた反合理化・運転保安闘争を紹介しました。

金元重さんは、3労組をはじめ全国の努力でJRや裁判所を追い詰めてきたが容易には運動が拡大しない状況を打破しようと訴えました。熊沢誠さんの講演や木下さんが呼びかけ人に加わったことから内向きの運動を打破して7月4日の集会は結果人数だけでなく新しい運動を提起しようと呼びました。

裁判闘争の勝利に向けて署名運動を活発するために学習会や一斉街宣などを行うことなども検討し、7月集会から11月労働者集会への取り組みを進めることを議論しました(事務局)。

を得ない。それを逆手に取って、JR・政府を擁護するために「裁量権」を持ち出すなど、断じて許されない。

弁護団は、不当労働行為からの救済の原則が「原状回復」であり、組合側が解雇撤回・原職復帰を求めている以上、中労委が出すべき救済命令は解雇撤回・原職復帰以外にないことを明らかにした。

真実から逃げるな

この裁判の最大の核心は、中労委が隠蔽しようとした国家的な不当労働行為の真実を徹底的に明らかにすることだ。

中労委は、斎藤英四郎JR設立委員長が不採用基準の策定を指示した事実について、「国鉄改革法に名簿作成は国鉄が行った」と書かれているからJRに責任はない。事実がどうだったかは関係ない」と真実から逃げようとしている。この間、組合側からは再三、不当労働行為過程の事実について見解を明らかにするよう追及してきた。

だが、裁判所は「その点の認否が必要かは今後検討する」と真実から目を背けようとしている。裁判所が行うべきは、審理を拒否した労働委員会への徹底した断罪であり、真実を明らかにするために審理を尽くすことだ。不当労働行為を実際に行っていたJR東海名誉会長・葛西敬之、JR東日本社長・深澤祐二の証人尋問は絶対に必要だ。裁判所に徹底した審理を行わせよう。

動労千葉 “生活できる賃金を！” ベアゼロ弾劾しCTS抗議行動

CTS (JR千葉鉄道サービ
スは4月9日、今年度の新賃
金について、社員はベアス
プゼロ、定期昇給(4号俸)の
み実施、契約・パート社員は
まったくのゼロ回答を強行しま
した。



しかし、CTSの20年度決算
は営業利益が2700万円、前
年比160%で大幅な増益の見
込みです。にもかかわらず、昨
年に続くベアゼロ回答です。コ
ロナ禍で緊張と相次ぐ業務量の
増加を強いられてきたことを振
り返れば、こんな回答は絶
対に認められません。
動労千葉は回答前日の4
月8日、CTS本社に抗議
行動を行いました(写真)。
まず川崎書記長が

るもので撤回を求める。
——の3点を提起しました。
新賃金と就業規則改定をめぐ
る団体交渉の報告をCTSで働
く執行委員が行い、「3回の団
体交渉を行った。『契約・パー
トは責任ある仕事をしていな
い』という会社の主張は大ウソ
だ。社員と同じだけの基本給
ボーナス、退職金を出せ」と訴
えました。

トの人はもっと大変だ。『せめ
て手取り20万円は欲しい』がみ
んなの声だ」と発言しました。
最後に、関委員長は「就業規
則改定には正当性がない。明ら
かな不利益変更だ。時給10円加
算でこまかそうとしているが通
用しない。幕張事業所での65歳
を迎えた組合員2人の雇い止め
は、組合差別であり不当労働行
為だ。各事業所での職場代表選
に勝利し、動労千葉と共に闘う
ことを訴えよう」と呼びかけま
した。

木更津でオスプレイ反対行動



4月10日、千葉県木更津市内で
「オスプレイはいらない! 4・10木
更津行動」が動労千葉を支援する
会・木更津と改憲・戦争阻止!大
行進千葉の呼びかけで行われた。
地元の木更津市民や市議、君津、
千葉、船橋、習志野、柏、成田な
どの千葉県内、東京、神奈川など
の市民運動の団体、労働組合など
130人が参加した。三里塚空港
反対同盟、そして動労千葉も木更
津支部を先頭に参加した。



時廣書記長の解雇撤回を求め 動労神奈川が春闘ストライキ

動労神奈川は3月13日、環境
アクセス小田原事業所で時廣書
記長の解雇撤回・職場復帰と、
現場労働者の賃上げを要求して
ストライキを闘った。

動労連帯高崎、神奈川労組交
流センター、改憲・戦争阻止!
大行進神奈川も支援に駆け付
け、小田原駅東口で街頭宣伝を
行った。
中村幸夫委員長は「資本家が
労働者を虫けらのように扱っ
てきた。労働者は労働組合
に結集して闘おう」と訴え、ス
トを行った。

分割・民営化以来の大攻撃に立ち向かう動労千葉

新型コロナ感染症の拡大の影
響で国鉄分割・民営化後のJR
体制が文字通り大崩壊を開始し
ている。

民営化体制の破綻

JR北海道は過去最悪の赤字
で再国有化も議論される中、政
府は、JR北海道に今後3年間で
1300億円、JR四国に5
年で1000億円を支援するこ
とを打ち出した。「支援」と言
うが、実際には分割・民営化の
破綻を開き直り、なし崩しの「再
国有化」によって合理化と廃線
化を加速するものでしかない。

歴史的攻撃

北海道では昨年4月の札沼線
の一部区間の廃止、あるいは高
波被害で不通だった日高本線が
6年の放置後に3月末で廃線な
ど、廃線が続いている。第3セ
クターも検討というが実際には
地元自治体による余裕はない。

JR北海道は昨年、265人
を新卒採用する一方で165人
が自己都合退職した。大半が
若手だ。赤羽国交大臣は「J
Rは、3月ダイヤ改正
で国鉄分割・民営型
とも言うべき歴史的な攻撃に踏み出し
ている。

新型コロナウイルス感染の拡大で最悪の赤字に 国鉄分割・民営化の全矛盾が全国で噴出

R北海道は(財政破綻した)
夕張市役所より給与水準が低
い」と述べている。

JR四国は、黒字路線は本州
と結ぶ瀬戸大橋線だけ。コロナ
禍で過去最大の赤字に転落し
た。北海道同様に退職の波が止
まらない。国鉄分割・
民営化体制のままで
まともに経営が成立
することは絶対にあ
りえない。これが分
割・民営化から34年
の現実だ。

JR東日本もまっ
たく同じ状況で昨年
度の鉄道事業の収入
は2018年度と比
較すると49・4%減
少した。
そうした中でJR
東は、3月ダイヤ改正
で国鉄分割・民営型
とも言うべき歴史的な攻撃に踏み出し
ている。

地域共同闘争

こうした攻撃に対して動労千
葉は、3月ダイヤ改訂のストを
闘い、ワンマン化・ローカル線
廃止攻撃に対して地域ぐるみの
闘争を発展させている。06年の
館山運転区廃止反対以来の闘い
の継続は住民との信頼関係を醸
成し、地方・地域社会を崩壊に
追い込む新自由主義への住民の
怒りが労働組合と結びつくこと
を強いられている。これ

CTSの闘い

今春闘をめぐっては8年
ぶりのベアゼ
ロにとどまらず、定期昇
給幅の半減(実際上・事
実上の定昇解体への踏み
込み)を強行した。
業務をめぐってはワン
マン化やジョブローテ
ションを大規模に進め、
運転士や車掌の大幅な要
員削減を進め、多数の車
掌が自宅待機、出勤予備
を強いられている。これ

さらに動労千葉は、外注化阻
止闘争の再構築をかけた挑戦に
踏み出している。
20数年の検修・構内業務の
同一賃金どころか、契約
社員やパート社員は「責
任のある仕事をしていな
い」との信じた暴論
のひどさに3割が退職し、今
後、エルター社員も続々と65歳
を迎える。もはや多数の休日勤
務なしでは職場は回らない状況
だ。JR東日本は「10年で外注
化を完成させる計画だ」と豪語
してきたがもはや外注化の破産
と再編は不可避だ。

これは外注化の問題性と矛盾
について動労千葉が指摘してき
たのみならず20数年の闘いが強
制した現実でもある。安全と雇
用破壊の外注化に対する最後の
な粉砕闘争に動労千葉は立って
いる。

外注先であるCTSでは、同
一労働同一賃金に関連する就業
規則の改悪攻撃に対して、外注
化の破綻の実態、現場の実感と
かけ離れた会社の提案に対して
怒りが爆発。CTSは4月1日
の改悪実施を強行できず、いま
だ職場説明会もできない。幕張
事業所では、3年連続で関委員
長が職場代表に選出されてい
る。6月に各職場で実施される
労働者代表、幕張以外の他の職
場での勝利を目指して新たな挑
戦が始まっている。